

千葉市子ども読書活動推進計画（第4次）の概要

第3次計画における子どもの読書活動に関する状況

○家庭・地域・学校の取組に分類し、140（再掲除く105）の施策・事業を実施。

主な取組

- ・読書手帳の配布
- ・ブックスタート事業の実施
- ・みずほハスの花図書館の整備
- ・ファミリー読書月間の制定
- ・全校一斉読書活動等の推進
- ・子育て応援コーナーの設置

など

＜目標とする数値に対する状況[令和元年度]＞

○ 1か月に読んだ本が0冊の児童生徒の割合

- ・小学生：0.6%（0.8%）・中学生：0.9%（5.5%）

※令和2年度の目標数値は、平成26年度の数値 小学生1.1%、中学生7.9%を基に設定。

○ 1週間に1時間以上読書をした児童生徒の割合

- ・小学5年生：44.1%（52.0%）・中学2年生：43.0%（※1）（52.0%）

○ 児童用図書の出冊数

- ・約148万冊（158万冊）

○ 団体貸出用資料の出冊数

- ・20,909冊（27,500冊）

※（ ）内は目標（令和2）年度の目標数値

※児童生徒数は第3次計画期間中（H28～R2）に約4,000人減少

第3次計画における課題

- 中学生までの読書習慣の形成が不十分

- 読書への関心を高めるきっかけが必要

- 図書館、学校、地域の団体等の円滑な連携

第4次計画における対応

基本方針

- 1 発達段階ごとの効果的な取組を推進し、読書への関心を高め、読書習慣を形成する
- 2 読書環境の整備と連携体制の構築

計画期間

- おおむね5年間（令和3年度～令和7年度）

目標とする数値[令和7年度]

基本方針1

- 1か月に読んだ本が0冊の児童生徒の割合
 - ・小学生：0.5%（0.6%）
 - ・中学生：0.7%（0.9%）
- 1週間に1時間以上読書をした児童生徒の割合
 - ・小学5年生：52.0%（44.1%）
 - ・中学2年生：52.0%（43.0%（※1））
- 児童一人当たりの児童用図書の出冊数
 - ・33冊（31.58冊）

基本方針2

- 団体貸出の利用団体数
 - ・128団体（119団体）

※（ ）内は現状（令和元年度）の数値

計画推進のための取組

134事業（再掲除く99事業）

【家庭における取組】<4事業>

- ・読書手帳の配布
- ・子ども読書講座の実施
- ・ブックスタート事業の実施
- ・ファミリーブックタイム運動の推進

【地域における取組】<67事業>

- ・新就学児を対象に図書館利用登録の促進【新規】
- ・電子図書館整備【新規】
- ・学校図書館への支援（学校レファレンス用カード）【新規】
- ・公民館図書室のWi-Fi環境整備【新規】
- ・障害のある子どもに配慮した資料の充実と提供
- ・団体貸出用図書の充実

他

【学校等における取組】<19事業>

- ・学校・幼稚園・保育所等でのおはなし会の実施
- ・全校一斉読書活動等の推進
- ・多様な読書活動（本の帯やポップづくり、読書会、ペア読書、お話（ストーリーテリング）、ブックトーク、アニメーション、ビブリオバトル等）への取組の推進
- ・学校図書館資料の充実
- ・各種教職員研修の充実

他

＜連携、普及啓発の推進＞<44事業>

- ・学校図書館運営委員会と図書館等との連携【新規】
- ・ボランティア研修の実施
- ・子育て応援コーナーの設置
- ・子ども向けイベントの実施

他

※1 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止による休校措置のため、令和元年度は調査未実施であることから、直近の平成30年度の数値を引用

読書習慣の形成に向けた発達段階ごとの効果的な取組の推進

段階	おおむね6歳頃まで	おおむね12歳頃まで	おおむね15歳頃まで	おおむね18歳頃まで
	乳 幼 児 期	小学生期	中学生期	高校生期
	絵本や物語を読んでもらい、興味を示すようになる等	多くの本を読んだり読書の幅を広げたりする読書等	内容に共感したり将来を考えたりする読書等	知的興味に応じた幅広い読書等
1 家庭の取組	No.1 読書手帳の配布		No.2 子ども読書講座の実施	
	No.3 ブックス タート事業の実施		No.4 ファミリーブックタイム運動の推進	
	【新規】No.5 図書館利用登録の促進 (新就学児対象)			
			No.8 見学や職場体験の受入れ	
2 地域の取組	No.9~13 おはなし会の実施 (「わらべうたと絵本の会」、高校生などが語るおはなし会、「外国語おはなし会」等)		No.14 子ども読書の日等関連行事の実施(推薦図書展示)	
	No.18~21 子どもの読書活動の推進に資する各種講座の実施(図書館出張講座(絵本講座や移動図書館の活用)等)		No.22 子どもへの読書相談やレファレンスの充実	
	【新規】No.26 電子図書館整備		No.27 YAコーナーの充実	
	No.28~31 児童・青少年向け図書等の充実・計画的収集		No.32~34 障害のある子どもに配慮した資料の充実と提供	
	No.35 地域おはなしボランティア養成講座・研修の実施		No.36 職員研修の充実(児童青少年サービスに関する業務研修等)	
	No.42~43 団体貸出用図書の充実		No.44 団体貸出用図書についての蔵書検索機能の充実	
	No.49~53 ボランティア等との連携によるおはなし会の実施		【新規】No.46 学校図書館への支援(学校レファレンス用カード配布)	
	No.54 放課後子ども教室でのおはなし会の実施		No.55 育児サークルでのおはなし会の実施	
	No.56~57 子どもや保護者が集う施設でのおはなし会等の実施(コミュニティセンター等)		No.59~63 子どもや保護者が集う施設における図書の充実(子どもルーム等)	
	No.65 子育てふれ愛フェスタの実施(読み聞かせ)		No.66 読み聞かせ講座の実施	
	No.67 公民館等の子ども向け講座の充実		【新規】No.68 公民館図書室のWi-Fi環境整備	
	No.71 公民館図書室職員の研修の充実			
3 学校等の取組	(1) 幼稚園・保育所・認定こども園等の児童向け図書の充実		No.72 幼稚園、保育所、認定こども園等の児童向け図書の充実	
	No.73~74 幼稚園、保育所、認定こども園等におけるおはなし会の実施		No.76 学校でのおはなし会の実施	
	No.77 調べ学習の充実		No.78 全校一斉読書活動等の推進	
	No.79 多様な読書活動(本の帯やポップづくり、読書会、ペア読書、お話(ストーリーテリング、ブックトーク、アニメーション、ビブリオバトル等(※))への取組の実施		No.85 学校図書館資料の充実	
	No.87 各種研修等の充実(教職員の読書活動関連研修)		No.88 学校間、学校と図書館間の相互貸借システムの構築	
	No.89 学校間、学校と図書館間の配送サービスの構築		No.95 見学や職場体験の受入れ	
	No.97 ボランティア研修の実施(ブックスタート事業の推進)		【新規】No.102 学校図書館運営委員会と図書館等との連携	
	No.105 読書まつりの実施		No.106 図書資料等の有効活用	
4 家庭・地域・学校等との連携	No.107 子育て応援コーナーの設置		No.121 推薦図書等の紹介	
	No.122 外国人市民の子ども向けサービス(資料情報提供)		No.125~126 子ども向けイベントの実施(親子探検ツアー、心に残る一冊を紹介する「本だいすき」等)	
	No.132 保護者・職員等の啓発研修の促進		No.134 千葉市子ども読書活動推進会議及び担当者会議の活用	
	No.134 千葉市子ども読書活動推進会議及び担当者会議の活用			
5 子どもの読書活動に関する理解と普及	No.121 推薦図書等の紹介		No.122 外国人市民の子ども向けサービス(資料情報提供)	
	No.125~126 子ども向けイベントの実施(親子探検ツアー、心に残る一冊を紹介する「本だいすき」等)		No.132 保護者・職員等の啓発研修の促進	
6 推進体制の整備	No.132 保護者・職員等の啓発研修の促進		No.134 千葉市子ども読書活動推進会議及び担当者会議の活用	

※読書会・・・数人で集まり、本の感想を話し合う活動。その場で同じ本を読む、事前に読んでくる、一冊の本を順番に読む等、様々な方法がある。本の新たな魅力に気づき、より深い読書につなげることができる。
 ブックトーク・・・相手に本への興味がわくような工夫を凝らしながら、あるテーマに沿って関連付けて、複数の本を紹介すること。テーマから様々なジャンルの本に触れることができる。
 ペア読書・・・二人で読書を行うものであり、家族や他の学年、クラス等様々な単位で一冊の本を読み、感想や意見を交わす活動。読む力に差がある場合も相手を意識し、本を共有することにつなげることができる。
 アニメーション・・・読書へのアニメーションとは、子どもたちの参加により行われる読書指導のことであり、読書の楽しさを伝え自主的に読む力を引き出すために行われる。ゲームや著者訪問等、様々な形がある。
 ビブリオバトル(書評合戦)・・・発表者が読んで面白かった本を一人5分程度で紹介し、その発表に関する意見交換を2から3分程度行う。全ての発表が終了した時にどの本が一番読みたくなったかを参加者の多数決で選ぶ活動。
 ゲーム感覚で楽しみながら本に関心を持つことができる。